

城南中学校「夜間学級」12年間のあゆみ

～共同事業5年間の評価と検証を終えて～

城南中学校「夜間学級」運営委員会

事務局 林 静一路

戦後の混乱や不登校などの理由で、文字の読み書きができないことにより、日常生活に支障をきたし、就職や各種免許等の資格取得が困難な方に対して、義務教育卒業程度の学力を身に付けさせるための学習活動の支援を行う。

▽小倉南区・八幡西区で実施

▽21年度…事業の評価・検証

1. はじめに

上の文は、北九州市教委が平成18年に作成した「北九州市教育行政総合計画～いきいき学びプラン」〈生涯学習の推進〉の項に書かれている夜間学級運営支援事業に関するものです。2005年4月、この事業を発足させるに当たって「5年後に相互で事業の評価・検証をして、6年目以降どうするかを考える」という合意の上で始まりました。

初年度は、「夜間学級運営事業補助金」という形で、年間100万円が交付されました。その後、北橋新市長誕生の2007年度から、市全体としては歳出削減の中、補助金が150万円に増額されました。なお2009年度の補助金は、「夜間学級」の運営をより充実させるための時間講師(1日3時間)を200日確保できるだけの予算と、スタッフに支払う交通費(実費)を合わせて、250万円に増額されました。現在、教室では日本人15名・在日朝鮮人3名・新渡日6名(韓国から4名・中国から1名・ベトナムから1名)の「生徒」とスタッフが、「違いを認め共に生きる」を合い言葉に日々学習しています。

2. 活動状況について

「毎日勉強がしたい」という人たちの願いに応えて、1998年に週1日の自主「夜間中学」として発足した「よみかき教室・城野」は、2005年4月から北九州市教委との共同事業で運営する城南中学校「夜間学級」として週5日の学習をするようになりました。(資料1)

初年度はのべ1500人の「生徒」が出席しました。その後、ヘルパーの資格が取れて介護の時間と重なって「教室」に来られなくなった人や、体調を崩して出席できなくなった人もいて次年度から少し減りましたが、「今日は調子がよいので来ました」と言いながら、みんな頑張っています。スタッフの参加は、トータルでは「生徒」より多くなっています。